

図6. OBSデータより求められた余震分布（平成23年3月15日-6月18日）。○が余震の震源位置を表す。色は深さを表し、大きさはマグニチュードを表している。赤いセンターは、過去の海底観測により求められているプレート境界の深さを表す（東京大学地震研究所 [課題番号：1416]）。

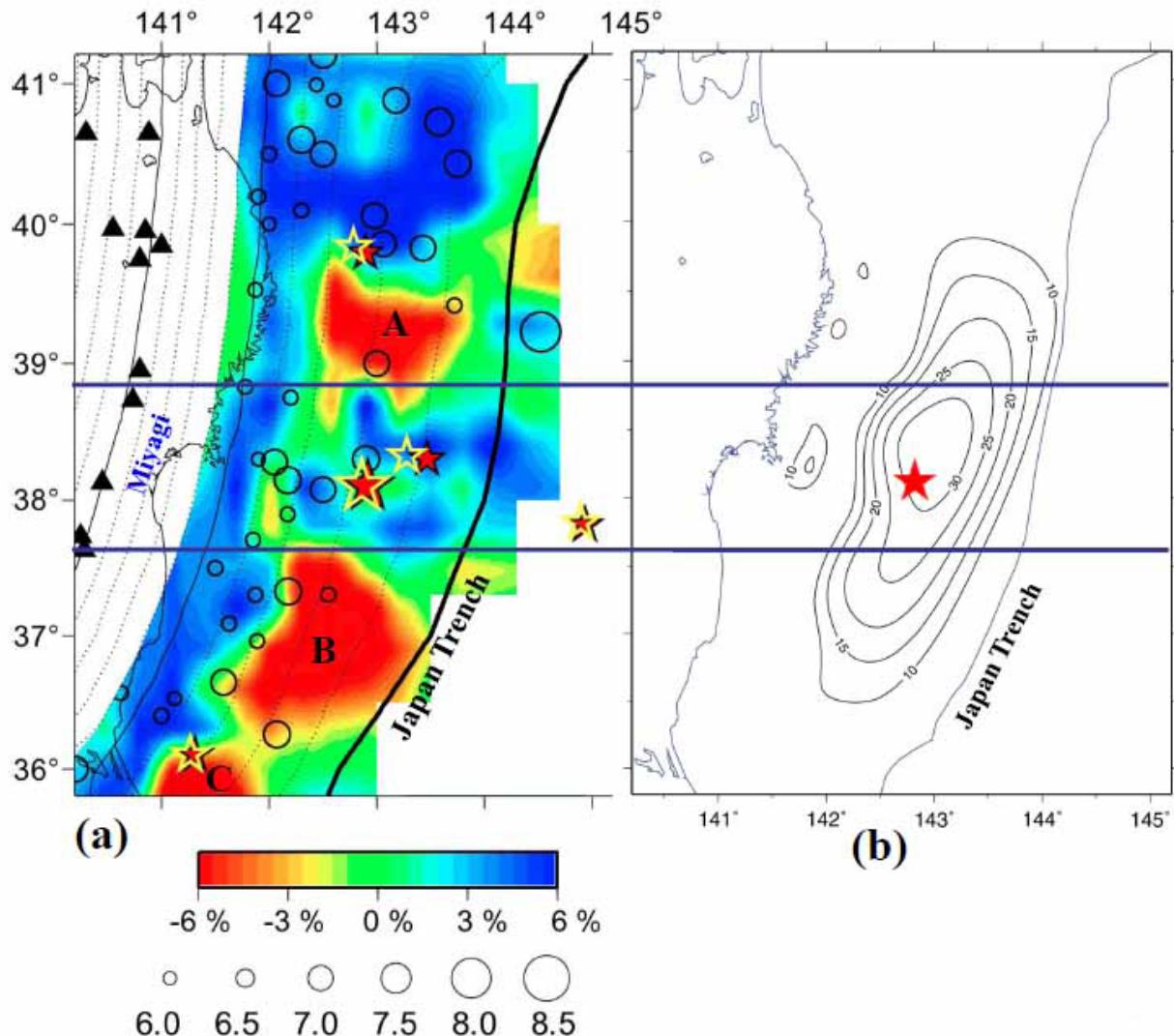


図7. a) 東北地方太平洋側のプレート境界面直上におけるP波速度異常の分布 (Zhao et al., GRL, 2011)。A, B, Cに顕著な低速度異常が認められる。○は1900～2008年に発生したM6以上の地震の震央。星印は前震、本震と3月11日に発生した大きな余震の震央で赤が再決定したもの、黄色は気象庁によるもの。(b) 本震時の滑り量分布(内田・飯沼, 2011)。星印は本震の震央(東北大[課題番号:1205])。